

10. 看護キャリア支援センター

10.1 看護キャリア支援センター運営委員会

委員長：紺家 千津子 教授（附属看護キャリア支援センター長）

委員：真田弘美学長、西田義明事務局長

活動内容：

<今年度の目標・年度計画>

新型コロナウイルス感染症拡大にともなう教育課程の運営について、大学のコロナ対策措置に沿いながら、適切な教育課程の運営をおこなう。次年度からの教育課程の開講の方針を検討し、決定する。

<今年度の活動実績・評価>

教育課程の運営の判断・決定にあたり、適宜運営会議を開催した。主な内容は以下であった。

- 1) 令和4年度「感染管理認定看護師教育課程」の運営について
- 2) 令和4年度「看護管理者教育課程(サードレベル)」募集要項、入学試験体制、運営について
- 3) 令和5年度教育課程開講のニーズ調査と、今後の方針について
- 4) 令和5年度予算について

<次年度以降に向けた課題・発展>

県内の医療施設等のニーズを把握し、令和6年度より特定行為研修を含む皮膚・排泄ケア認定看護師教育課程を開講するために準備を行い、受講生を確保する。

10.2 感染管理認定看護師教育課程

主任教員：池田 富三香特任准教授

専任教員：北川洋子特任講師、松澤麻里特任講師、大井希美佳特任講師

<今年度の活動実績>

1. 令和4年度教育課程の実施

- 1) 開講期間：令和4年7月4日（月）～令和5年2月10日（金）授業時間：630時間
- 2) 履修生人数：42名（男性12名、女性30名）/出身：石川県内施設15名、石川県外27名

<次年度以降に向けた課題・発展>

新型コロナウイルス感染症拡大状況下に応じた、対面・Webなどの教育方法の工夫しながら運営が行えた。履修生数増員に伴う教育環境についても大学内施設を活用しながら行えた。

10.2.1 感染管理認定看護師教育課程教員会

委員長：紺家 千津子 教授（附属看護キャリア支援センター長）

委員：川島和代教授(学長補佐)、池田富三香特任准教授、北川洋子特任講師、松澤麻里特任講師、大井希美佳特任講師

飯沼由嗣(金沢医科大学病院)、小藤幹恵(石川県看護協会)、
中瀬美恵子(浅ノ川病院)、嶋田由美子(公立つるぎ病院)
活動実績:教育課程の開始・修了(判定)にともない2回の開催を行った。

10.3 認定看護管理者教育課程サードレベル

池田 富三香特任准教授、出口 まり子特任講師

<今年度の活動実績>

1. 令和4年度教育課程の実施

- 1) 開講期間:Ⅰ期:令和4年10月19日(水)~11月11日(金)/Ⅱ期:令和4年11月21日(月)
~12月1日(木)/Ⅲ期:令和4年12月12日(月)~12月22日(木) 授業時間:
180時間
- 2) 履修生人数:21名、

<次年度以降に向けた課題・発展>

平成28年に開講、令和1~2年度の休講後2年間開講した。北陸地区で開催するにあたり、受講生数を確保しながら質の高い看護管理者を育成することが重要である。病院だけでなく訪問看護ステーションや老人保健施設等の看護管理者へ参加を働きかけ、看護協会との連携を密にしてファーストレベルやセカンドレベル受講生の状況をみながら開催年度を決定していく。現在、日本看護協会認定部でカリキュラムの見直しを行っていることや受講生数の確保も鑑みて次年度は一旦休講とし、次回開催年度を検討する。

10.4 認定看護師教育課程フォローアップ研修

<今年度の活動実績>

1. 目的

感染管理:認定看護師としての役割を果たし、次世代を担う人材を育成する。

認知症看護:認知症患者の「生(活)きる」を支えるために、認知症看護認定看護師としての知識とケアの向上をはかる。

2. テーマ

感染管理:地域包括ケアシステムの推進に向けた認定看護師の役割~チーム医療がより機能するための看護職の裁量発揮~

認知症看護:認知症患者の「生きる」「活きる」を支える

3. 日時・参加者

開催日時:令和5年2月4日(土)(認知症看護)、13:30~18:00(感染管理) 13:30~17:30

参加人数:第1部~第3部 約360名

(認知症看護認定看護師91名、感染管理認定看護師113名、
感染管理認定看護師教育課程履修生42名)

4. 実施内容

第1部 真田弘美学長特別講演

講演:「未来の看護に向けて」

講 師：真田 弘美（石川県立看護大学長）
座 長：紺家 千津子（石川県立看護大学附属看護キャリア支援センター長）

第2部・第3部 認知症看護・感染管理各分野に分かれて研修

【感染管理認定看護師の部】

第2部 講 演：「特定認定看護師の活動」
講 師：嶋田 由美子（公立つるぎ病院）
座 長：日向 千恵子（2期生 金沢医科大学病院）

第3部 感染管理認定看護師活動報告

シンポジスト：

- 坂本 信彰（1期生 医療法人社団浅ノ川 浅ノ川総合病院）
 - 古川千恵子（2期生 医療法人社団浅ノ川 千木病院）
 - 竹内 智教（3期生 一般企業）
 - 日向 高裕（4期生 京都第二赤十字病院）
 - 遠藤 弓人（5期生 米沢市立病院）
- 座 長：赤尾 康子（1期生 加賀市医療センター）
荒俣ゆかり（2期生 公立学校共済組合 北陸中央病院）

【認知症看護認定看護師の部】

第2部 講 演：認知症の人を地域で支える訪問看護師の実際～自宅に帰りたい思いを支える～
講 師：伊藤 達也（ソフィアメディ訪問看護 ステーション管理者）
座 長：山口 香（1期生 小松市民病院）
増井由紀子（1期生 独立行政法人国立病院機構 石川病院）

第3部 活かそう！コロナ禍で得た新たなケア～「生（活）きる」を支えるために～

テーマ：認知症患者の「生きる」「活きる」を支える

シンポジスト：

- 間 めぐみ（1期生 高山赤十字病院）
 - 畠 真理子（1期生 石川県立こころの病院）
 - 丸木 裕美（1期生 福井大学医学部附属病院）
 - 盛田 大樹（2期生 医療法人社団城南会 富山城南温泉病院）
 - 足立 理恵（2期生 関西労災病院）
 - 宮元 滋宏（3期生 富山県立中央病院）
 - 橋本文（3期生 福井大学医学部附属病院）
- 座 長：秦 祐美（3期生 公立能登総合病院）
山田 みどり（3期生 金沢医科大学氷見市民病院）

<次年度以降に向けた課題・発展>

各期の修了生の代表で研修内容を企画し、修了生のニーズに沿った研修を開催していく。
認知症看護認定看護師教育課程は修了して3年間開講していない。また感染管理認定看護師

教育課程は次年度以降一旦休講となる予定である。教育課程の修了生の数も増加しているため、開講がない期間のフォローアップ研修を継続していけるよう運営方法を検討する必要がある。

10.5 石川县委託事業の開催

10.5.1 石川県看護教員現任研修事業

<研修目的・年度計画>

研修ニーズに基づき、対象者別に研修を企画した。対象者は、若手教員、看護教員と教育担当者（新人看護職員研修）、看護教員・実習指導者や実習指導に関心がある看護職員とした。

【目的】

- ・看護教員および臨地における教育担当者の教育力向上を目指す
- ・授業実施上の問題点を参加者同士で共有して、問題点を解決するために授業設計の考えかたとその手法の習得

<今年度の活動実績>

【若手教員対象】

開催日	時間	研修テーマ	講師	開催方法
6/11 (土)	10:30～ 15:00	臨地実習指導における教員の役割	石川県立看護大学 教授 石川 倫子 <ファシリテーター> 国立病院機構金沢医療セ ンター金沢看護学校 教員 坂本 泰子 石川県立総合看護専門学 校 教務主任 金田 明子 浅ノ川学園 金沢看護専 門学校 教務主任 山口 恵子	(対面) 石川県立 看護大学 地域ケア 研修室

【看護教員と教育担当者（新人看護職員研修）対象】

開催日	時間	研修テーマ	講師	開催方法
8/6 (土)	9:00～ 10:30	COVID-19感染症による 新人教育への影響 —看護基礎教育と新人教育の連携— 【第Ⅰ部】 話題共有	<座長兼進行> 石川県立総合看護専門学校 副学校長 越野 まゆみ 金沢医療センター附属金 沢看護学校 副学校長 西村 民子 <話題提供者> 石川県立総合看護専門学校 教務主任 西田 妙子 石川県立看護大学 准教授 寺井 梨恵子 金沢医科大学病院 看護師長 北川 奈美江 公立松任石川中央病院 看護師長 関沢 かすみ 公立能登総合病院 教育担当師長 仙本 禎恵	Zoomによる オンライン
	10:45～ 12:30	【第Ⅱ部】 グループワーク	<ファシリテーター> 国立病院機構医王病院 副看護部長 燕 真理子 加賀看護専門学校 副学校長 大久保 由美子 石川県立看護大学 助教 瀬戸 清華	Zoomによる オンライン

【看護教員・実習指導者や実習指導に関心がある看護職員対象】

開催日	時間	研修テーマ	講師	開催方法
8/27 (土)	10:00～ 12:00	臨地実習指導に活かすコーチング 【第Ⅰ部】 1. コーチングの基本的考え方 2. コーチングスキル	NPO法人日本看護 キャリア開発センター 代表 下山 節子 <司会・進行> 石川県立看護大学 教授 濱 耕子	Zoomによる オンライン ・対面(併用) 石川県立 看護大学 中講義室4
	13:00～ 15:00	【第Ⅱ部】 1. シナリオ作成 2. グループワーク 3. ロールプレイ発表	<ファシリテーター> 石川県立看護大学 助教 桶作 梢 助教 河合 美佳	

【看護教員と教育担当者（新人看護職員研修）対象】

開催日	時間	研修テーマ	講師	開催方法
11/5 (土)	10:00～ 10:35	自分の授業から学ぶ もやもやの共有と整理 ワーク	講師： 石川県立大学 教授 小椋 賢治 <司会・進行> 石川県立看護大学 准教授 寺井 梨恵子	(対面) 石川県立 看護大学 研修室
	10:35～ 11:15	授業設計の基本（1）講義		
	11:15～ 12:00	科目を設計しよう ワーク グループで科目のコースを設計		
	13:00～ 13:25	授業設計の基本（2）講義		
	12:25～ 14:35	1回の授業を設計しよう 1. 個人で1回の授業の構成を設計 2. プレゼン		
	14:35～ 15:00	座談会 まとめ		

10.5.2 専門的看護実践力研修「看護管理者研修」

<今年度の目標・年度計画>

地域包括ケア時代における看護管理者の役割を果たすうえでの知識を修得し、自らの行動を明確にする。

<今年度の活動実績>

日時	研修内容	講師
令和4年11月18日（金）		
10:30～	オリエンテーション 開講式	石川県立看護大学附属看護キャリア支援センター 教員 池田 富三香 石川県立看護大学附属看護キャリア支援センター センター長 紺家 千津子
11:10～11:50	石川県の看護の状況	石川県健康福祉部医療対策課 高山 次代
13:00～16:00	地域包括ケア時代における 看護管理とリーダーシップ①	石川県立看護大学 名誉教授 丸岡 直子
11月19日（土）		
9:30～12:00	地域包括ケア時代における 看護管理とリーダーシップ②	石川県立看護大学 名誉教授 丸岡 直子
13:00～16:00	組織における倫理的課題	常磐大学 教授 吉田 千文

日 時	研修内容	講 師
11月26日(土)		
9:00～15:30	データを活用した看護管理 －自部署の看護をデータでみる、 看護の質を保証する－ 組織の課題達成に向けて －組織分析の意義と手法－	滋賀県立総合病院 院長補佐兼看護部長 西村 路子
令和4年12月2日(金)		
9:30～12:00	看護管理上の課題達成にむけた戦略 －交渉術－	金沢医科大学病院 キャリア支援センター 課 長 高見 知世子
13:00～15:30	看護管理者としての能力開発	石川県立看護大学 名誉教授 丸岡 直子
15:30～15:45	アンケート / 閉校式	石川県立看護大学附属看護キャリア支援センター センター長 紺家 千津子

10.5.3 専門的看護実践力研修「分野別実践看護師養成研修:皮膚・排泄ケア研修」

<今年度の目標・年度計画>

皮膚・排泄ケア看護に関する専門的知識、技術を身に付け、看護実践力の向上を図る。

<今年度の活動実績>

日 時	分 野	科目・講師
令和4年11月5日(土)		
9:25～9:55	-	看護の動向について
		石川県健康福祉部 医療対策課 管理・看護グループ係主査 高山 次代
10:00～10:55	Ostomy/ Continence	泌尿器ストーマと失禁の管理
		金沢医科大学 氷見市民病院 泌尿器科 教授 森山 学
11:00～11:55	Wound	創傷治癒とDESIGN-R2020
		石川県立看護大学 教授 紺家 千津子
13:00～13:55	Wound	ストーマケアの基礎
		石川県立看護大学 教授 紺家 千津子
14:00～14:55	Ostomy	瘻孔管理
		小川医院 院長 小川 滋彦
15:00～15:55	Wound	褥瘡の外科的・物理的療法
		金沢医科大学 名誉教授 南ヶ丘病院 院長 川上 重彦

日 時	分 野	科目・講師
令和4年11月6日(日)		
9:00～9:55	Ostomy	消化器ストーマと術後管理
		金沢医科大学 一般・消化器外科学 准教授 藤田 秀人
10:00～10:55	Wound	褥瘡のリスクアセスメント
		福井医療大学 保健医療学部 看護学科 教授 北川 敦子
11:00～11:55	Wound	体圧管理
		久藤総合病院 皮膚・排泄ケア認定看護師 山田 ゆかり
13:00～13:55	Wound/ Ostomy	がん薬物療法時のスキンケア
		公立小松大学 保健医療学部 看護学科 教授 松井 優子
14:00～14:55	Wound	スキンケアとドレッシング材の選択
		JCHO 金沢病院 皮膚・排泄ケア認定看護師 山下 美樹
15:00～15:55	Wound	スキン-ケア
		石川県立看護大学 教授 紺家 千津子
令和4年11月23日(水・祝)		
9:00～9:55	Wound	下肢の潰瘍のケア
		公立松任石川中央病院 皮膚・排泄ケア認定看護師 遠藤 瑞穂
10:00～10:55	Wound	糖尿病のフットケア
		金沢大学 医薬保健研究域保健学系 教授 大江 真琴
11:00～11:55	Ostomy	ストーマ周囲皮膚障害のスキンケア
		金沢大学附属病院 皮膚・排泄ケア認定看護師 山田 清美
13:00～13:55	Wound	MDRPU(医療関連機器圧迫創傷)
		金沢医療センター 皮膚・排泄ケア認定看護師 尾西 恵理
14:00～14:55	Wound	褥瘡のリハビリテーション
		一般社団法人オーディナリーライフ 理学療法士 神野 俊介
15:00～15:55	Continenence	IAD(失禁関連皮膚炎)とスキンケア
		金沢大学 医薬保健研究域保健学系 教授 大桑 麻由美

日 時	分 野	科目・講師
令和4年11月27日(日)		
9:00～9:55	Continence	失禁対策
		公立松任石川中央病院 皮膚・排泄ケア認定看護師 遠藤 瑞穂
10:00～10:30	Wound	褥瘡の再発予防
		石川県立看護大学 助教 大橋 史弥
10:40～11:55	Wound	褥瘡のケア計画 1
		皮膚・排泄ケア認定看護師 尾西 恵理、遠藤 瑞穂、古川 きよみ、村田 幾美、 山下 美樹、山田 清美、山田 ゆかり、紺家 千津子
13:00～14:10	Wound	褥瘡のケア計画 2
		皮膚・排泄ケア認定看護師 尾西 恵理、遠藤 瑞穂、古川 きよみ、村田 幾美、 山下 美樹、山田 清美、山田 ゆかり、紺家 千津子
14:15～15:00	Wound/ Ostomy/ Continence	ケア相談
		皮膚・排泄ケア認定看護師 尾西 恵理、遠藤 瑞穂、古川 きよみ、村田 幾美、 山下 美樹、山田 清美、山田 ゆかり、紺家 千津子

10.5.4 看護実践力向上研修「感染管理」

<今年度の目標・年度計画>

感染管理について専門的看護実践能力を身につけ、感染防止対策の中心的な役割を担うことができる看護師を育成する。

<今年度の活動実績>

令和4年度 感染管理看護実践力向上研修				
開催日	時間	テーマ	内容	担当(敬称略)
第1日 6月2日(木) 8月18日(木) 「Zoom」による オンライン 研修	9:00 ～	オリエンテーション	受講方法 オリエンテーション	看護キャリア支援センター 教員 池田 富三香
	9:50 ～ 10:00	開講式	開講式のあいさつ	看護キャリア支援センター センター長 紺家 千津子
	10:00 ～ 10:30 講義	看護の動向と看護政策	看護の動向と我が国の 看護政策について	石川県健康福祉部 医療対策課 室屋 みゆき 高山 次代
	10:30 ～ 12:00 講義	感染管理に活かす感 染症学の知識	感染症のメカニズム 市中感染と医療関連感 染 感染症診断の基本的プ ロセス・抗菌薬の使用 と選択基準	金沢医科大学病院 ICD 飯沼 由嗣
	13:00 ～ 15:40 講義	病院感染管理におけ る ICT の役割と機能	① ICD の立場から ②薬剤師の立場から ③細菌検査技師の立場 から ④感染管理認定看護師 及びリンクナースの立 場から	金沢医科大学病院 感染対策チーム 医師 飯沼 由嗣 薬剤師 多賀 允俊 細菌検査師 河村 佳江 感染管理認定看護師 野田 洋子
	15:40 ～ 16:30 講義	感染管理における施 設の役割	我が国における感染管理 病院感染管理組織とシ ステム 感染管理推進のための 方策	看護キャリア支援センター 感染管理認定看護師 教育課程専任教員 大井 希美佳

開催日	時間	テーマ	内容	担当(敬称略)
第2日 6月3日(金) 8月19日(金) 「Zoom」による オンライン 研修	9:00 ～	感染防止技術の基本	標準予防策と経路別予 防策	看護キャリア支援センター 感染管理認定看護師 教育課程専任教員 松澤 麻里
	9:45 講義 9:55 ～ 10:55 講義	感染管理に活かす微 生物学の知識	微生物の基礎的知識 感染管理上重要な病原 微生物の種類と特徴 微生物検査	石川県立こころの病院 ICMT 新川 晶子
	11:05 ～ 12:05	職業感染防止対策	針刺し、切創、血流体 液曝露対策 流行性感染症対策	看護キャリア支援センター 感染管理認定看護師 教育課程専任教員 北川 洋子
	13:00 ～ 14:30	感染防止対策実際	看護ケアにおける感染 防止 洗浄消毒滅菌と環境管 理	看護キャリア支援センター 感染管理認定看護師 教育課程専任教員 大井 希美佳
	14:40 ～ 16:00 演習・GW	自施設の感染管理組 織とシステム(グ ループワーク)	①自施設の感染管理組 織とシステムを把握し、 他施設の状況も知る。 ②自施設の問題点を抽 出できる	演習支援メンバー： 大井 希美佳 松澤 麻里 北川 洋子 池田 富三香
第3日 6月10日(金) 8月26日(金) 「Zoom」による オンライン 研修	9:00 ～ 10:00	医療器具・処置関連 感染防止対策①	尿路感染防止対策 血流感染防止対策	看護キャリア支援センター 感染管理認定看護師 教育課程専任教員 北川 洋子
	10:00 ～ 10:30	医療器具・処置関連 感染防止対策②	医療関連肺炎防止対策	看護キャリア支援センター 感染管理認定看護師 教育課程専任教員 松澤 麻里
	10:40 ～ 11:30	医療器具・処置関連 感染防止対策③	手術部位感染防止対策	金沢医科大学病院 感染管理認定看護師 日向 千恵子
	12:30 ～ 13:50 講義	病院感染防止対策	アウトブレイク対策に ついて	看護キャリア支援センター 感染管理認定看護師 教育課程専任教員 松澤 麻里
	14:00 ～ 16:30 演習・GW	病院感染防止対策演 習	病院感染事例の対策に ついて 演習問題をグループ ワーク	演習支援メンバー： 大井 希美佳 松澤 麻里 北川 洋子

開催日	時間	テーマ	内容	担当（敬称略）
第4日 6月11日(土) 8月27日(土) 「Zoom」による オンライン 研修	9:00 ～ 10:00	医療関連感染サーベイランス概論	サーベイランスとは サーベイランス種類と 方法 感染率・使用比の算出 とベンチマーク・デー タ活用	浅ノ川総合病院 感染管理認定看護師 江波 麻貴
	10:00 ～ 12:00 GW	自施設の感染管理 改善計画作成①	自施設の感染管理上の 問題点を明確化し改善 計画を立案する	演習支援メンバー： 大井 希美佳 松澤 麻里 北川 洋子 江波 麻貴
	13:00 ～ 16:00 GW	自施設の感染管理 改善計画作成②	グループで一つの改善 課題を選定し計画を立 案する	池田 恵子 鍛冶 佳美 嶋田 由美子
	16:00 ～ 16:20	閉講式	閉講のあいさつ 修了証書授与	看護キャリア支援センター センター長 紺家 千津子

10.5.5 保健所感染症対応向上研修

<今年度の目標・年度計画>

新型コロナウイルス感染症等の集団発生事例が発生した場合に、保健所職員が、適切な感染防護具の使用やゾーニング、消毒の方法について、医療機関や施設等の個々の状況下に合わせた指導ができるよう、感染症に関する基本的知識及び具体的対策を学び、保健所における感染症対応力の向上を図ることができる。

<今年度の活動実績>

開催日	時間/方法	テーマ	内容	担当（敬称略）
第1回 5月24日(火) 「Zoom」による オンライン 研修	9:00 ～ 9:10	オリエンテーション	・オリエンテーション ・Zoomの活用方法	看護キャリア支援センター 主任教員 池田 富三香
	9:10 ～ 9:15	開講式	・開講式あいさつ	看護キャリア支援センター センター長 紺家 千津子
	9:15 ～ 10:00	クラスター発生時の 調査・ 介入に関する疫学、 考え方	・医療関連感染で特に 問題となる感染症 ・感染症発生時に必要 な情報収集 ・クラスター発生時の 対応、優先順位	金沢医科大学病院 ICD 飯沼 由嗣

第1回 5月24日(火) 「Zoom」による オンライン 研修	10:00 ～ 10:40	感染予防対策の基本 1) 標準予防策	・感染対策の基本 ・手指衛生の重要性	看護キャリア支援センター 感染管理認定看護師教育 課程 専任教員 北川 洋子
	10:50 ～ 11:30	感染予防対策の基本 2) 感染経路別予防 策	・疾患別の感染予防対 策 ・新型コロナ感染症の 対応	看護キャリア支援センター 感染管理認定看護師教育 課程 専任教員 松澤 麻里
	11:30 ～ 12:10	感染予防対策の基本 3) 器材の取り扱い と 環境管理	・洗浄・消毒・滅菌 ・環境整備の重要性	看護キャリア支援センター 感染管理認定看護師教育 課程 専任教員 大井 希美佳
	13:10 ～ 16:10	事例検討 (グループワーク)	・クラスター発生時の 情報収集と対応	看護キャリア支援センター 大井 希美佳 松澤 麻里 北川 洋子
	16:10 ～ 16:30	実地研修について	・実地研修のすすめ方 ・実習計画書の作成	看護キャリア支援センター 主任教員 池田 富三香
第2回 実地研修 7月15日 9月2日 9月20日 11月8日 11月21日	1施設 ／日	高齢者施設、障害者 施設等に出向き、実 際の現場での感染対 策を学ぶ	・1グループ2名で、施 設等を訪問 ・研修目的 (医療機関や施設等の 個々の状況に応じた感染 拡大防止の実際を学ぶ)	演習支援メンバー： 看護キャリア支援センター 大井 希美佳 松澤 麻里 北川 洋子 浅ノ川総合病院 江波 麻貴 公立つるぎ病院 嶋田 由美子
	実習の 振り返り 演習	高齢者施設、障害者 施設等に出向き、実 際の現場での感染対 策を学ぶ	・手洗い手指消毒の実 際 ・マスク、アイシール ド、エプロン、ガウン、 手袋の着脱の実際	
第3回 実地研修 終了後 開催日 12月21日	9:00 ～ 10:50	実地研修のまとめ (グループワーク)	・実地研修での学びか ら1施設選び事例報告 書を作成 (学んだ事、気づいた こと等)	演習支援メンバー： 看護キャリア支援センター 大井 希美佳 松澤 麻里 北川 洋子 浅ノ川総合病院 江波 麻貴 公立つるぎ病院 嶋田 由美子
	11:00 ～ 11:55	情報共有 各グループ6分以内 で発表	・各グループで、実地 研修から共有したい情 報の事例を選び発表す る	
	11:55 ～ 12:00	閉講式	・閉講式あいさつ	看護キャリア支援センター センター長 紺家 千津子

10.6 地域貢献

<今年度の目標・年度計画>

地域の機関からの依頼による地域貢献の役割を果たす。

<今年度の活動実績>

氏名	テーマ	主催者名	場所・機関	年月（西暦）
大井 希美佳	令和4年度介護職員等における喀痰吸引等の実施のための研修 個人防護具着脱演習	社会福祉法人 石川県社会福祉協議会	福祉総合研修センター	2022. 6. 4
大井 希美佳	令和4年度介護職員等における喀痰吸引等の実施のための研修 個人防護具着脱演習	社会福祉法人 石川県社会福祉協議会	石川県地場産業振興センター 第5会議室	2022. 6. 12
松澤 麻里	石川県立看護大学1年次前期 感染管理学講義：9. 医療器具・処置関連感染防止策 10. 職業感染管理	石川県立看護大学	石川県立看護大学	2022. 5. 23
松澤 麻里	石川県立看護大学1年次前期 感染管理学講義：11. 感染管理に関するチーム医療、地域連携	石川県立看護大学	石川県立看護大学	2022. 5. 30
松澤 麻里	令和4年度介護職員等における喀痰吸引等の実施のための研修 個人防護具着脱演習	社会福祉法人 石川県社会福祉協議会	石川県地場産業振興センター 第5会議室	2022. 6. 12
松澤 麻里	令和4年度介護職員等における喀痰吸引等の実施のための研修 講義・個人防護具着脱演習	社会福祉法人 石川県社会福祉協議会	石川県青少年総合研修センター	2022. 9. 25
北川 洋子	講義：高齢者施設・在宅での感染防止対策	富山県院内 感染対策協議会	富山県医師会館	2022. 12. 10
池田 富三香	講義：認定看護管理者教育課程 ファーストレベル 人材育成の基礎知識	石川県看護協会	石川県看護協会	2022. 11. 14 11. 15